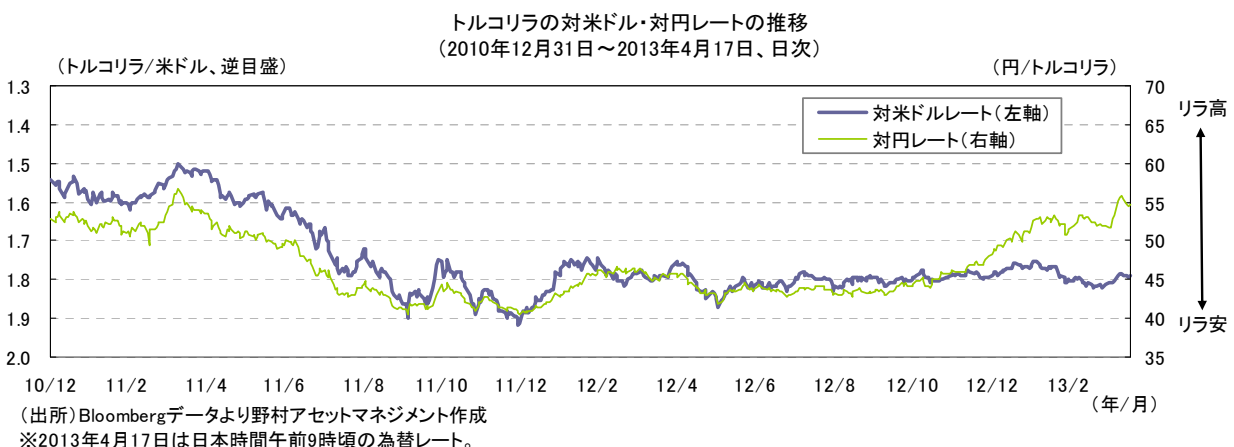
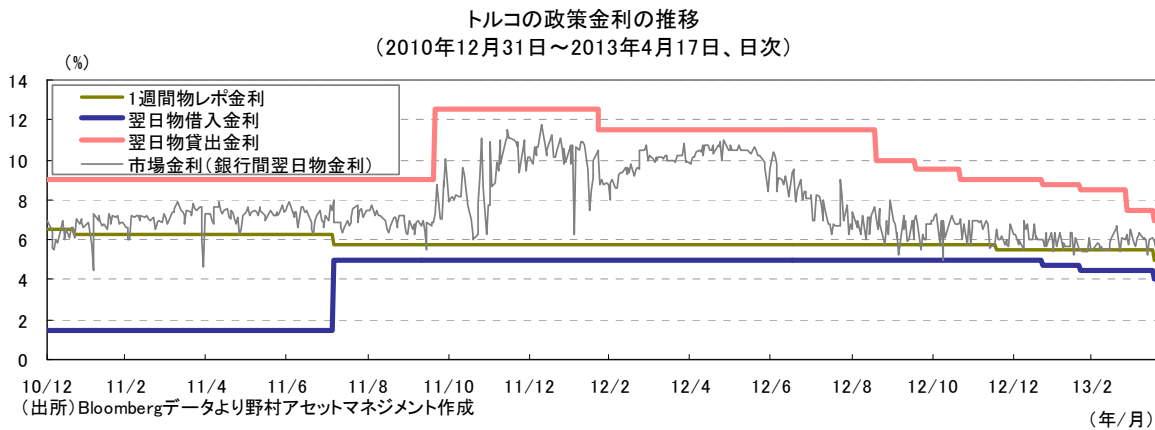


4月16日発表のトルコの金融政策について

トルコ中央銀行は4月16日の金融政策決定会合において、主要政策金利である1週間物レポ金利を0.5%引き下げ5.0%としました。市場では概ね0.25%の引き下げが予想されていましたが、市場予想よりも大きな引き下げ幅となりました。加えて、市場金利(銀行間翌日物金利)の下限となる翌日物借入金利および上限となる翌日物貸出金利を0.5%引き下げ、それぞれ年率4.0%、7.0%としました。

今回の措置は、国内景気の支援および海外からの資本流入拡大によるリラ上昇の阻止を狙ったものと見られます。同中銀は声明で、資本流入が再拡大する一方、国内の融資の伸びは依然として望ましい水準を上回っていることも指摘しました。そして「金融システム安定のために、政策金利を引き下げ、外貨準備を積み上げることが適切と判断した」としています。

4月17日9時頃(日本時間)、トルコリラの為替レートは、対円で前日比0.1%程度、対米ドルで同0.3%程度のトルコリラ高となっています。



以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。